

鹿骨授業スタンダード推進指導案（国語科）

1. 指導者 丸山 貴也
 2. 会場 1年1組教室
 3. 指導学級 1年1組（計32名）
 4. 単元名 登場人物の対比からものの見方や考え方を広げよう
 教材名「オツベルと象」

5. 単元の重点とする目標

- ・場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てることができる。
- ・文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分のものの見方や考え方を広げることができる。

6. 単元指導評価計画（6時間扱い）

㊦知識・技能 ㊧思考・判断・表現 ㊨主体的に学習に取り組む態度

時	学習目標	学習活動	評価規準との関連			評価規準(評価方法)	具体的な生徒の姿
			知	思	主		
1	作品について自分の感想をもとう。	・作品を読み、語句の意味等を確認する。 ・初発の感想・疑問を授業支援ソフトに送る。	○		○	㊦ 語句の意味を把握し、作品の内容の理解に役立てることができる。(発言) ㊨ 作品についての感想・疑問をもとうとしている。(授業支援ソフト)	・以前に行った文学的な文章における作者の意図についての学習を想起している。 ・範読後に感想・疑問をもつために、作品を読み返している。
2	感想・疑問を交流することで、単元を貫く学習課題を理解しよう。	・自分の感想を読む。 ・他者の感想や疑問を読んだり、聞いたりする。	○		○	㊦ 単元を貫く学習課題を理解することができる。(ワークシート) ㊨ 他者の感想や疑問から、自分の考えを広げようとしている。(観察)	・次時以降に話し合う視点につながる感想・疑問を全体で共有している。
3	オツベルの人物像から、第二日曜日の部分のオツベルの本音を読み取ろう。	・オツベルの人物像について確認する。 ・オツベルの本音を読み取る。 ・オツベルの本音を交えて、音読する。	○			㊦ オツベルの本音（本当に渡したい物が何か、言葉かけは働かせるための口実であることを）理解している。(ワークシート)	・オツベルの本音について、グループで意見を出し合い、考えを深めている。
4	オツベルと白象を比較し、二人の登場人物の違いを理解しよう。	・オツベルと白象を比較する。 ・グループで発表し、意見を分類する。	○			㊦ オツベル、白象の特徴、人物像などを比較し、まとめている。(ワークシート)	・比較した内容を交流することで、これまで以上に自分の考えを広げている。
5 本 時	作品のメッセージを捉えよう。	・前時のオツベルと白象の比較をもとに、作者が作品に込めたメッセージを考える。	○		○	㊧ 作品のメッセージを捉えることができる。(ワークシート) ㊨ グループでの話し合いを通して、自分の考えを広げようとしている。(観察)	・個人で考えたことを互いに伝え、他人の考えと比較し自分の考えを再検討している。
6	作者の理想とする人物像を捉えよう。	・詩歌「雨ニモ負ケズ」を読み、作者の理想とする人間像について考える。	○		○	㊧ 作者の理想とする人物像を捉えることができる。(ワークシート) ㊨ 作品について自分の考えをもち、単元の学習を振り返ろうとしている。(ワークシート)	・作品の特徴を理解し、作品の全体像を捉えながら、振り返りを記入している。